



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月14日

上場会社名 株式会社ウィッツ 上場取引所 東
 コード番号 4440 URL <https://www.witz-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 博行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 脇田 周爾 TEL 052-220-1218
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-----|------|------|------|-----|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年8月期第3四半期 | 1,908 | 8.9 | 207 | △0.9 | 232 | 1.0 | 136 | △3.2 |
| 2022年8月期第3四半期 | 1,752 | 8.8 | 209 | 4.9 | 230 | 7.2 | 141 | △5.9 |

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 138百万円 (△4.7%) 2022年8月期第3四半期 144百万円 (△3.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年8月期第3四半期 | 33.17 | 33.13 |
| 2022年8月期第3四半期 | 33.91 | 33.82 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年8月期第3四半期 | 2,927 | 2,313 | 78.1 |
| 2022年8月期 | 2,855 | 2,295 | 79.5 |

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 2,285百万円 2022年8月期 2,269百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年8月期 | — | 0.00 | — | 8.00 | 8.00 |
| 2023年8月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2023年8月期（予想） | — | — | — | 8.00 | 8.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-------|------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,500 | 6.6 | 160 | △32.4 | 190 | △28.4 | 125 | △28.9 | 29.97 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年8月期3Q | 4,176,000株 | 2022年8月期 | 4,171,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年8月期3Q | 92,464株 | 2022年8月期 | 126株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年8月期3Q | 4,122,040株 | 2022年8月期3Q | 4,164,633株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報 | 3 |
| (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | 5 |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 6 |
| (会計方針の変更) | 6 |
| (セグメント情報) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症が収束に向かい、感染症法上の位置付けが5類感染症に移行したこと等を反映して経済活動の正常化が進み景気に緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や米中関係の地政学的リスク、主要各国での金融引き締めによる金利上昇等により、資源・エネルギー価格の高騰や円安基調の為替変動、物価上昇などの影響が見られ先行き不透明な状況が依然として続いております。

このような経済環境下においても、当社グループへの開発依頼は高い需要を維持しております。特に、組込みソフトウェアの技術分野が好調であり、自動車向けの売上が大きく伸びた他、半導体関連装置を含む産業機械向けの売上、教育及び知財コンテンツなどの売上も堅調に推移しました。

また、前第3四半期連結会計期間において株式会社スクデット・ソフトウェア（以下、「スクデット社」という）を新たに連結子会社とした影響もあり、売上高は前年同期比増収となりました。

営業利益においては、売上高の増収の影響等により売上総利益が前年同期比で増益となったことに加え、前年同期に発生した本社移転費用、株式取得関連費用等の販管費は不発生により減少したものの、新規事業の推進、事業の拡大、営業活動の強化などに向けた人員の増強や拠点の整備、スクデット社に係る販管費やのれん償却費の増加、人材確保に向けた採用関連コストの増加等により、販管費が増加した結果、前年同期比減益となりました。

経常利益においては、営業利益が前年同期比で減益となったものの、主にGo-Tech事業（成長型中小企業等研究開発支援事業）の補助金収入及び見込計上により営業外収益が増加したため、前年同期比増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益においては、経常利益が前年同期比で増益となったことに加え、法人税等の見積コストが減少したものの、基幹システムの開発計画見直しに伴う減損損失の発生により特別損失が増加したため、前年同期比減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,908,148千円（前年同期比8.9%増）、営業利益207,248千円（同0.9%減）、経常利益232,434千円（同1.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益136,723千円（同3.2%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第3四半期連結累計期間と前年同期の一方若しくは両方がマイナスの金額である場合または前年同期比増減率が1,000%以上となる場合は、前年同期比増減率の記載に代えて、前年同期額を記載しております。

1. ソフトウェア開発事業

当セグメントにおいては、自動車・産業機械向けの制御ソフトウェアの受託、シミュレータなど仮想空間技術の提案・開発・提供、近年の電子機器装置の安全性を担保するために必要なコンサルティング・安全性分析支援などを行っております。なお、連結子会社であるスクデット社は当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、主力であります組込みソフトウェアの技術分野が好調であり、自動車向けの売上が大きく伸びた他、半導体関連装置を含む産業機械向けの売上が堅調に推移しました。また、前第3四半期連結会計期間においてスクデット社を新たに連結子会社とした影響もあり、売上高及びセグメント利益は前年同期比増収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は1,820,041千円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益（営業利益）は566,052千円（同11.9%増）となりました。

2. サービスデザイン事業

当セグメントにおいては、組込みシステム開発を通じて獲得した中核技術のノウハウを積極活用した新たな商品及びサービスの提供などを行っております。なお、連結子会社である株式会社イマジナリーは当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、事業の開始から間もなく、また、サービス事業創出のための投資を行っている段階ではありますが、顧客企業の未来製品の試作に関わる支援サービス等を行ったこと等により、売上高は前年同期比増収となり、セグメント損失は縮小しました。なお、当第3四半期連結会計期間において製造業のDXを支援する「SF Twin™ Cobot」の製品化を実現しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は45,524千円（前年同期比82.6%増）、セグメント損失（営業損失）は841千円（前年同期は25,617千円のセグメント損失）となりました。

3. その他

当セグメントにおいては、株式会社アトリエ、株式会社ヴィッツ沖縄が含まれております。

経営成績の状況といたしましては、組込みソフトウェア、セキュリティ及びセーフティの技術分野が好調に推移し、自動車や産業機械向けの売上が増加したものの、前期に沖縄地域で実施していた実証実験の受託縮小の影響により、イベント系エンタメ分野の売上が落ち込んだため、売上高及びセグメント利益は前年同期比減収減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は154,448千円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益（営業利益）は23,880千円（同9.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

前期末比増減率が1,000%以上となる場合は、前期末比増減率の記載に代えて、前期末額を記載しております。

(資産)

流動資産は、2,274,525千円（前期末比4.8%減）となりました。主な内訳は、現金及び預金1,931,075千円（同6.2%減）、受取手形、売掛金及び契約資産181,487千円（同10.3%減）、仕掛品88,615千円（同13.0%増）であります。

固定資産は、652,605千円（同40.0%増）となりました。主な内訳は、投資有価証券200,662千円（前期末2,631千円）、保険積立金158,092千円（前期末比7.6%増）、のれん89,206千円（同7.9%減）、有形固定資産44,851千円（同7.4%増）であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、2,927,131千円（同2.5%増）となりました。

(負債)

流動負債は、353,875千円（前期末比12.3%増）となりました。主な内訳は、賞与引当金75,650千円（同34.9%減）、買掛金40,821千円（同10.7%増）、未払法人税等16,679千円（同67.9%減）であります。

固定負債は、259,484千円（同6.2%増）となりました。主な内訳は、退職給付に係る負債165,894千円（同10.1%増）、長期未払金91,495千円（前期末同額）であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、613,360千円（前期末比9.6%増）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,313,771千円（前期末比0.8%増）となりました。主な内訳は、資本金612,524千円（同0.2%増）、資本剰余金547,159千円（同0.2%増）、利益剰余金1,216,038千円（同9.3%増）であります。

(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな開発案件において計画縮小や中止、開始時期の延期などが発生する可能性があります。また、当社グループ内で感染者が確認された場合には開発リソースが不足する可能性があり、これらのリスクが顕在化した場合、当社グループの経営成績及び財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、2022年10月13日に公表いたしました予想からの変更はありません。なお、当該連結業績予想及び配当予想の数値につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年8月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,058,795 | 1,931,075 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 202,348 | 181,487 |
| 仕掛品 | 78,452 | 88,615 |
| その他 | 49,687 | 73,346 |
| 流動資産合計 | 2,389,283 | 2,274,525 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 41,751 | 44,851 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 96,853 | 89,206 |
| その他 | 26,885 | 9,437 |
| 無形固定資産合計 | 123,738 | 98,644 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,631 | 200,662 |
| 保険積立金 | 146,909 | 158,092 |
| その他 | 151,070 | 150,354 |
| 投資その他の資産合計 | 300,611 | 509,110 |
| 固定資産合計 | 466,101 | 652,605 |
| 資産合計 | 2,855,385 | 2,927,131 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 36,888 | 40,821 |
| 未払法人税等 | 52,010 | 16,679 |
| 賞与引当金 | 116,207 | 75,650 |
| 製品保証引当金 | 958 | 858 |
| その他 | 109,145 | 219,865 |
| 流動負債合計 | 315,209 | 353,875 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 150,640 | 165,894 |
| 長期未払金 | 91,495 | 91,495 |
| その他 | 2,094 | 2,094 |
| 固定負債合計 | 244,230 | 259,484 |
| 負債合計 | 559,440 | 613,360 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 611,561 | 612,524 |
| 資本剰余金 | 546,050 | 547,159 |
| 利益剰余金 | 1,112,681 | 1,216,038 |
| 自己株式 | △325 | △88,879 |
| 株主資本合計 | 2,269,968 | 2,286,841 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | △992 |
| その他の包括利益累計額合計 | — | △992 |
| 非支配株主持分 | 25,975 | 27,921 |
| 純資産合計 | 2,295,944 | 2,313,771 |
| 負債純資産合計 | 2,855,385 | 2,927,131 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 1,752,223 | 1,908,148 |
| 売上原価 | 1,054,522 | 1,188,941 |
| 売上総利益 | 697,700 | 719,206 |
| 販売費及び一般管理費 | 488,654 | 511,958 |
| 営業利益 | 209,045 | 207,248 |
| 営業外収益 | | |
| 補助金収入 | 13,260 | 18,661 |
| 助成金収入 | 1,762 | 4,026 |
| 保険解約返戻金 | 4,147 | 2,682 |
| 保険事務手数料 | 799 | 760 |
| 受取手数料 | 99 | 99 |
| その他 | 1,257 | 2,087 |
| 営業外収益合計 | 21,327 | 28,317 |
| 営業外費用 | | |
| 補助金返還額 | — | 2,230 |
| 自己株式取得費用 | — | 773 |
| 支払手数料 | 60 | 114 |
| 支払利息 | 93 | 12 |
| 為替差損 | 0 | — |
| 営業外費用合計 | 154 | 3,131 |
| 経常利益 | 230,218 | 232,434 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産受贈益 | 539 | — |
| 特別利益合計 | 539 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 36,175 |
| 投資有価証券評価損 | 2,920 | 325 |
| 固定資産除却損 | 1,264 | — |
| 特別損失合計 | 4,184 | 36,500 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 226,572 | 195,933 |
| 法人税等 | 81,703 | 56,821 |
| 四半期純利益 | 144,869 | 139,112 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 3,658 | 2,388 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 141,211 | 136,723 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 144,869 | 139,112 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | △992 |
| その他の包括利益合計 | — | △992 |
| 四半期包括利益 | 144,869 | 138,119 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 141,211 | 135,731 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 3,658 | 2,388 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2022年11月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。また、2022年12月14日開催の取締役会決議に基づき、2023年1月6日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式7,700株の処分を行いました。この結果、単元未満株式の買取りによる変動を含めて、当第3四半期連結累計期間において自己株式が88,554千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が88,879千円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、時価算定会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年9月1日至2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益認識の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他(注) | 合計 |
|-----------------------|----------------|----------------|-----------|---------|-----------|
| | ソフトウェア 開発事業 | サービス デザイン事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,684,256 | 24,833 | 1,709,089 | 43,133 | 1,752,223 |
| 内、請負契約 | 1,014,369 | 4,600 | 1,018,969 | 40,870 | 1,059,839 |
| 内、準委任契約 | 376,933 | 7,800 | 384,733 | 624 | 385,357 |
| 内、派遣契約 | 275,363 | — | 275,363 | 1,639 | 277,003 |
| 内、その他 | 17,589 | 12,433 | 30,023 | — | 30,023 |
| 外部顧客への売上高 | 1,684,256 | 24,833 | 1,709,089 | 43,133 | 1,752,223 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 5,000 | 100 | 5,100 | 113,247 | 118,347 |
| 計 | 1,689,256 | 24,933 | 1,714,189 | 156,381 | 1,870,570 |
| セグメント利益又は損失(△) | 506,043 | △25,617 | 480,425 | 26,293 | 506,719 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 売上高 | 金額 |
|----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,714,189 |
| 「その他」の区分の売上高 | 156,381 |
| セグメント間取引消去 | △118,347 |
| 四半期連結損益計算書の売上高 | 1,752,223 |

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 480,425 |
| 「その他」の区分の利益 | 26,293 |
| 全社費用(注1) | △310,557 |
| その他の調整額(注2) | 12,883 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 209,045 |

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ソフトウェア開発事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間にスクデット社の全株式を取得し、連結子会社としたことにより、のれんが101,950千円発生しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益認識の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他(注) | 合計 |
|-----------------------|----------------|----------------|-----------|---------|-----------|
| | ソフトウェア 開発事業 | サービス デザイン事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,820,041 | 45,524 | 1,865,566 | 42,582 | 1,908,148 |
| 内、請負契約 | 867,232 | 20,158 | 887,390 | 35,070 | 922,460 |
| 内、準委任契約 | 652,852 | 20,700 | 673,552 | — | 673,552 |
| 内、派遣契約 | 287,806 | — | 287,806 | 7,512 | 295,318 |
| 内、その他 | 12,150 | 4,666 | 16,816 | — | 16,816 |
| 外部顧客への売上高 | 1,820,041 | 45,524 | 1,865,566 | 42,582 | 1,908,148 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 111,866 | 111,866 |
| 計 | 1,820,041 | 45,524 | 1,865,566 | 154,448 | 2,020,014 |
| セグメント利益又は損失(△) | 566,052 | △841 | 565,211 | 23,880 | 589,091 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 売上高 | 金額 |
|----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,865,566 |
| 「その他」の区分の売上高 | 154,448 |
| セグメント間取引消去 | △111,866 |
| 四半期連結損益計算書の売上高 | 1,908,148 |

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 565,211 |
| 「その他」の区分の利益 | 23,880 |
| 全社費用(注1) | △399,214 |
| その他の調整額(注2) | 17,371 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 207,248 |

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、基幹システムの開発計画見直しに伴い、今後使用が見込めなくなったソフトウェア仮勘定について、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。回収可能価額の算定にあたっては、使用価値を零として減損損失を測定しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては36,175千円であります。